

平成20年度 三陸国道事務所の事業概要について

平成20年 5月 1日

国土交通省 東北地方整備局
三 陸 国 道 事 務 所

発表記者会 : 岩手県政記者クラブ、東北専門記者会
宮古記者クラブ、釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ

<問い合わせ先>

三 陸 国 道 事 務 所

宮古市藤の川4番1号

代表電話(0193)62-1711

副所長 ぶん や 文 屋 泰 雄 (内線 204) 携帯 090-3362-2211

副所長 くまがい しげのり 熊 谷 茂 則 (内線 205) 携帯 090-3362-2212

平成20年度の予算概要

租税特別措置法などの成立により財源の見通しがついたことから、地域の経済情勢等に鑑み、これに対応する予算について早期に執行することとしたところであり、事業全体の工程に遅れを生じることがないよう、迅速かつ効率的な執行に努めてまいります。

予算の執行にあたっては、「道路関係業務の執行のあり方改革本部最終報告書」(4月17日)に基づき、無駄の排除など、予算の厳格な執行に努めてまいります。

■平成20年度 三陸国道事務所 事業費総括表

(単位:百万円)		
	平成20年度 当初予算	H19比
地域連携推進事業費	13,995	1.06
道路維持修繕費	1,598	0.73
沿道環境改善事業費	200	4.44
雪寒地域道路事業費	8	1.00
交通事故重点対策事業費	764	2.76
交通安全施設等整備事業費	1,099	0.80
電線共同溝整備事業費	201	—
合 計	17,865	1.04

1. 平成20年度の重点事業

た か た
高田道路の先行整備区間の暫定供用を目指します。
(P 5 参照)

先行整備区間である延長3.4kmについて、改良・舗装及び附属施設工事を実施し、暫定供用を目指します。

よ し は ま
吉浜道路の用地調査に着手します。

吉浜道路(延長3.6km)について、用地調査に着手します

か ま い し や ま だ
釜石山田道路の工事を推進します。

先行整備区間である延長4.6kmについて、う の す ま い鵜住居第1トンネル(L=937m)、う の す ま い鵜住居第2高架橋(L=187m)等を推進します。

み や こ
宮古道路の工事を推進します。

用地買収を推進するとともに、か ね は ま金浜地区の改良工事等を推進します。

な か の
中野バイパスの工事を推進します。

い わ い ず み岩泉工区(L=4.7km)のい わ い ず み岩泉トンネル(L=1,986m)、し ん や よ い さ わ新弥生沢橋(L=133m)等を推進します。

お か ん よ う
尾肝要道路の調査・設計等を推進します。

尾肝要道路(延長4.5km)について、調査・設計等を推進します。

ふ だ い
普代バイパスの工事を推進します。

用地買収を推進するとともに、ら が羅賀地区の改良工事等を推進します。

橋梁の耐震補強工事を推進します。

今後予想される宮城県沖地震等に備え、橋梁震災対策として、一般国道45号の久慈大橋等において、橋脚耐震補強および落橋防止対策を推進します。

トンネル補修工事を推進します。

老朽化したトンネルの保全対策として、一般国道45号の宮古第三トンネルにおいて補修対策を推進します。

よこて横手交差点の改良工事を実施します。

ひろのちょうたねいち
一般国道45号の洋野町種市地内において、交通事故の削減及び交通渋滞の解消を目的として、交差点改良工事を実施します。

かみあらかわ上荒川登坂車線の工事を推進します。

かまいししとうにちょう
一般国道45号の釜石市唐丹町地内において、大型車等の速度低下による渋滞の解消、無理な追い越し等に起因する事故防止を目的として、登坂車線の工事を推進します。

つ き じ築地地区電線共同溝の整備を実施します。

み や こ し つ き じ
一般国道45号の宮古市築地地内において、都市景観の向上および災害時における電柱倒壊の回避や緊急輸送道路の確保等、主要幹線道路にふさわしい安全で快適な道路空間の確保を目的として、電線共同溝の整備を実施します。

